

# オウム対策住民協議会ニュース

〈発行〉  
足立入谷地域オウム真理教  
(アレフ)対策住民協議会  
東京都足立区舎人1-3-26  
電話 080-2378-3537



横断幕を先頭に200人がデモに参加



施設前で「抗議文」を読み上げる



集会の最後には全員でシュプレヒコール

## 信者よ 早く目を覚ませ、手遅れになる前に

5月26日(日) 真夏を思わせる天候の中、第8回抗議デモを行った。近藤足立区長、都議、区議、各町会長、自治会長、近隣地域(川口市、烏山住民協議会、地域住民の方々約200名)が参加、地元竹の塚警察署の協力を得ながら、炎天下にも負けず早期解散撤退、安心・安全な暮らしを求めるシュプレヒコールを繰り返しながらデモ行進をした。

### ■第8回抗議デモ■

## 炎天下に負けない熱い気概

## 我々は解散・撤退まで諦めない

### 抗議文 (全文)

その建物内に生活するオウム信者諸君！  
我々は、あなた達が解散する最後まで徹底して戦う住民で結集した「対策協議会」である。あなた方は、教主「麻原彰晃」の唱える反社会的な危険思想を植えつけられ、マインドコントロールされ、自分の働いた賃金を組織に吸い取られ、組織の名の下にその活動を強いられ、日本社会から「破壊的なカルト集団」として常に監視の目に曝されている現状を考えなさい。

あなた方は、まともな宗教団体ではない。組織の上層部、あたかもそれが正当な信ずべき教義であるがごとく見せかけた、欺瞞に満ちた教えであることに、早く気が付きなさい。

あなた方の親や兄弟、そして友人たちが身の細る思いで心配している事を考えなさい。私たち地元住民は、あなた方が一日も早くその悪の組織から出る事を願っている。そのために我々住民は、全面的に協力することを約束する。

### 集会

## オウム施設の解散・撤退に向け固い決意！

デモ行進に引き続き午後2時より、旧入谷南小学校体育館で約200名参加の集会が行われました。

来賓の方々の紹介後、齊藤協議会会長がデモ行進、集会に参加された方々への謝意と、オウム



デモ中に施設を見上げる区長

また、市川入谷町会会 結合でもオウム真理教に 解散、撤退を促す活動強 長は、サリンを殺人目的 対する捉え方に地域差が 化を図るため、一層の協 として製造、使用した教 団が当該地域に存在してい 短期であるうえ加盟自治 体での恐怖を 覚え、資産価値 的な活動が困難であるこ とを指摘しました。次期 総会で足立区が選出され れば先頭に立ち、オウム であると話 した。 近藤足立区長 撤退するまで断固闘い、 さらに国、国会等に働き かけて行く固い決意を示 したが、協議会活動の継続と オウム真理教対 皆さんの一致協力を要望 されました。

### 講演

## サリンの製造は70トン 国、社会の壊滅を狙う

NHK報道局社会部記者 清水 将裕氏



講演する清水さん

「オウム関連取材を通 背景について提案したと して」の講演でサリン製 造の目的が明かされる。 済みとの異論もあつた が、18年間の資料の収 集整理、1年有余にわた 者で、オウム真理教番組 制作担当の清水将裕氏を 講演者としてスライドを 交えた講演会が開かれま した。 清水氏は「特別報道番 本人の肉声テープ700 組未解決事件」の制作検 討時に、オウム真理教の 本を入手、全てを聴きこ

このような思想教団が 起した、長野県松本市 及び地下鉄サリン事件を 回避できなかったのは、 異常性は感じていたが想 像が出来ず、また情報不 足、情報の共有が無かつ たことが否めない。一過 性の事件とせず今後とも 注視し、報道等を通じ風 化させないように努力し ていくと語りました。 後日、再放送の予定が あるのでその際は、ご覧 下さい。 集会、講演会参加者の 大勢の方から、いかに危 険な集団が近所に住んで いるのか分かり、今後 も活動に参加しなければ との話が聞かれました。

# 平成25年度総会 原案通り可決

5月11日(土)、平成25年度定期総会を、旧入谷南小学校第1多目的ルームにて午後6時から開催しました。来賓として足立区より定野司総務部長はじめ区職員、都議入谷ウム真理教の当地域進出職員、舎人町会会長、古千谷本町町会会長、入谷自治会会長、隣接町会会長、川口市議、関係機関他と地域住民、総勢80余名の出席がありました。開会宣言後、齋藤協議

## 最高裁の決定を受け、アレフ解散に向け努力

5月11日(土)、平成25年度定期総会を、旧入谷南小学校第1多目的ルームにて午後6時から開催しました。来賓として足立区より定野司総務部長はじめ区職員、都議入谷ウム真理教の当地域進出職員、舎人町会会長、古千谷本町町会会長、入谷自治会会長、隣接町会会長、川口市議、関係機関他と地域住民、総勢80余名の出席がありました。開会宣言後、齋藤協議

## アレフ側の敗訴が確定

近藤やよい足立区長は「区側の考え方が全面的に認められて、本当にうれしく思っております。これだけでは住民の不安が払拭されるわけではなく、今後ともアレフ解散に向け努力する」とコメントしました。

最高裁判長が7月3日付でアレフ側の上告を退ける決定をしました。結果アレフ側敗訴の二審判決が確定しました。

協議会としても、平成23年6月7日の東京地裁での第1回口頭弁論から丸2年、10回の傍聴を続け、教対策関係市町村連絡会が、法務大臣・公安調査庁長官へオウム真理教問

# 最高裁 上告棄却決定 道路占用不許可処分取消訴訟

この抜本的な解決に向けた法整備などを求める要望書を提出する動きが、「裁判所に声として届いた」と思われます。

解散・撤退のきっかけに

## 一審判決を二審も支持

## 裁判所に要望の声届く

足立区における「反社会的団体の規制に関する条例」の公布・施行(現在係争中)やオウム真理教対策関係市町村連絡会が、法務大臣・公安調査庁長官へオウム真理教問

## 協議会活動報告

- 4月6日・7日 「春の花火と千本桜まつり」  
※準備するも荒天のため中止
- 4月11日 過料処分取消訴訟裁判傍聴
- 4月19日 東京高裁第一回口頭弁論30名参加  
実行委員会(舎人住区センター)
- 5月11日 平成25年度定期総会  
(旧入谷南小学校第1多目的ルーム)  
参加者80名
- 5月17日 実行委員会(舎人学習センター)
- 5月26日 第8回抗議デモ・集会及び講演  
参加者200名  
講演者 NHK報道局社会部 清水将裕氏  
オウム真理教対策市町村連絡会総会  
(於グランドアーク半蔵門)  
協議会より7名参加  
足立区が会長に再任
- 6月5日 過料処分取消訴訟裁判傍聴
- 6月13日 東京高裁第二回口頭弁論28名参加  
実行委員会(舎人住区センター)
- 6月21日

## 募金・賛助金

- (株)首都圏環境美化センター 様 ￥10,000
- 社会福祉法人長寿村 足立翔裕園 様 ￥10,000
- (株)和興スチール 向井正行 様 ￥10,000
- 鹿浜自治会連絡協議会 浅香三代治 様 ￥10,000
- 川口市八幡木自治会 様 ￥20,000
- 総会時 募金 ￥55,200
- 総会時 募金 ￥10,450
- 喜さく 様 ￥10,000
- 集会時 募金 ￥39,183
- 塩原 加代子 様 ￥5,000
- 齋藤 道子 様 ￥5,000

(平成25年3月1日～平成25年6月30日迄)  
皆様のご協力有難うございました。

## 募金・協賛金のお願い

協議会の活動は、募金・協賛金で運営されております。

安心・安全な町を取り戻すために、是非皆様のご支援・ご協力をお願いします。

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会  
東京都足立区舎人1-3-26 電話080-2378-3537

# 第9回 抗議デモ・集会

- 日時 平成25年10月27日(日曜日)
- デモ 午後1時～
- 集会 午後2時～
- 入谷中央公園集合、出発
- 旧入谷南小学校体育館

多数の参加をお願いします!